

平成 26 年 9 月 9 日

各 位

会 社 名 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
代 表 者 名 ファウンダー、会長兼 CEO 窪田 良
(コード番号：4589 東証マザーズ)
問 合 せ 先 アキュセラ・インク (Acucela Inc.)
日本事務所 ディレクター 須賀川 朋美
(TEL：03-5789-5872 (代表))
代 理 人 ベーカー&マッケンジー法律事務所 (外国法共同事業)
弁護士 高橋 謙 (TEL：03-6271-9900)

社長兼最高執行責任者 (COO) の就任および最高財務責任者 (CFO) の異動について

シアトル市 (2014 年 9 月 8 日 (米国西海岸標準時間)) – 当社は、ブライアン・オカラガン氏を社長兼最高執行責任者 (COO) に任命しましたので、お知らせいたします。同氏は製薬会社における上級管理職としての経験ならびに製薬会社の運営および商業化の経験を有しており、当社が今後グローバルな事業を展開していく上で、重要な役割を担ってまいります。当社のファウンダー、会長兼最高経営責任者 (CEO) である窪田良は、ファウンダー、会長兼最高経営責任者 (CEO) として従来どおり当社の代表的な立場として、業務に務めてまいります。

同時に、当社はデヴィッド・L・ローランス氏の退任に伴い、ブライアン・オカラガン氏を暫定最高財務責任者 (Interim CFO) に任命しましたので、お知らせいたします。なお、デヴィッド・L・ローランス氏の退任は同氏の個人的理由によるものであり、同氏の退任申し出を当社が承諾したものであります。

記

1. 最高執行責任者の氏名及び役職名

(新任) 氏名：ブライアン・オカラガン (Brian O'Callaghan)

新・役職名：社長兼最高執行責任者 (COO)

2. 最高執行責任者の異動の年月日

新最高執行責任者の就任年月日 2014 年 9 月 8 日 (米国西海岸標準時間)

3. 最高執行責任者の略歴

ブライアン・オカラガン氏は 2013 年 9 月から当社の取締役を務めています。同氏は直近までサンディエゴを拠点とするバイオテクノロジー企業である Sonrgy Inc. の会長兼 CEO を務めていました。それ以前は、同氏は Sangart Inc. の社長兼 CEO および同社取締役会のメンバーを務めました。同氏はまた、

NPS Pharmaceuticals, Inc. の最高商務責任者として重要な企業戦略イニシアチブを発揮し、また Covance Inc. ではゼネラルマネジャーを務め2つの中核事業領域の再編および再建を成功に導きました。Novartis Pharmaceuticals Corporation では、移植・免疫担当ないし感染症担当の北米ゼネラルマネジャーとしていくつかの有力製品の上市、インライセンス取引および2つの主要事業ユニットの拡大に尽力しました。同氏はスイスでバイオ製薬会社の BioPartners を共同設立し、ドイツの Merck Biopharmaceuticals でゼネラルマネジャーを務め、また Pfizer では英国でならびに Bayer ではアイルランドで様々な上級管理職を経験しました。同氏は英国のヘンリー・カレッジ・オブ・ビジネス・マネジメントで MBA およびコーク・インスティテュート・オブ・テクノロジー・アンド・マーケティング・インスティテュート・オブ・アイルランドでマーケティング・ディプロマを取得しています。同氏は現在 BIOCUM, Aquavit Biopharma および San Diego Century Club 等で複数の取締役ないし理事の役職に就いています。当社は、オカラガン氏の製薬会社における上級管理職としての経験ならびに製薬会社の運営および商業化の経験に基づき、同氏が当社の社長兼最高執行責任者（COO）に適した人材であると確信しています。

4. 最高財務責任者の氏名及び役職名

（新任）氏名：ブライアン・オカラガン（Brian O'Callaghan）

新・役職名：暫定最高財務責任者（Interim CFO）

（退任）氏名：デヴィッド・L・ローランス（David L. Lowrance）

旧・役職名：最高財務責任者（CFO）

5. 最財務責任者の異動の年月日

暫定最高財務責任者の就任年月日 2014年9月8日（米国西海岸標準時間）

旧最高財務責任者（CFO）の退任年月日 2014年9月4日（米国西海岸標準時間）

なお、旧最高財務責任者は2014年9月30日まで当社のアドバイザーとして引継ぎ業務を行う予定です。

以上

アキュセラ・インク (Acucela Inc.) について

アキュセラ・インク（日本語サイト：www.acucela.jp）は、世界中で数百万人が罹患している視力を脅かす眼疾患の進行を遅らせることにより治療を目指す革新的な治療薬の探索および開発に取り組んでいる、臨床開発段階のバイオ製薬企業です。当社と大塚製薬株式会社は、現在、当社が独自に創製した視覚サイクルモジュレーションに基づく地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性の治療薬「エミクススタト塩酸塩」および高眼圧症または開放隅角緑内障に対する治療薬「OPA-6566」の共同開発を行っています。

免責事項

本資料は関係情報の開示のみを目的として作成されたものであり、有価証券の取得または売付けの勧誘または申込みを構成するものではありません。本資料は、正確性を期すべく慎重に作成されていますが、完全性を保証するものではありません。また本資料の作成にあたり、当社に入手可能な第三者情報に依拠しておりますが、かかる第三者情報の実際の正確性および完全性について、当社が表明・保証するものではありません。当社は、本資料の記述に依拠したことにより生じる損害について一切の責任を負いません。

また本資料の情報は、事前の通知なく変更される可能性があります。

本資料には将来予想に関する見通し情報が含まれます。これらの記述は、現在の見込、予測およびリスクを伴う想定（一般的な経済状況および業界または市場の状況を含みますがこれらに限定されません）に基づいており、実際の業績とは大きく異なる可能性があります。今後、新たな情報、将来の事象の発生またはその他いかなる理由があっても、当社は本資料の将来に関する記述を更新または修正する義務を負うものではありません。